

冊子「知って安心 暮らしの中の医療情報ナビ」の改定について

1 概要

○冊子概要

- ・都民向けに、医療の仕組みや医療保険など、医療に関する全般的な情報を、入院から退院までのストーリーとして分かりやすく解説し、納得のできる医療を受けてもらうことを目的に、平成18年度から作成
- ・配布するターゲットに合わせ、①高齢者の骨折編 ②脳卒中編 ③子供の発熱編 ④漫画版 の4種類

○主な配布先

- ・地区医師会や区市町村等が開催する都民向けの公開講座や各種事業において、医療制度に関する説明の際に冊子が活用されているほか、医療機関等においては、患者への説明等の際に活用されている

(平成26年度配布数:12,887冊 ※4種類計)



2 改定内容

(平成27年7月14日 医療情報に関する理解促進委員会にて決定)

- ・主に高齢者をターゲットとして作成している①高齢者の骨折編 ②脳卒中編について、冊子を一本化するるとともに、持ち運びしやすい様にA5版とし、情報を整理・レイアウト等を工夫し、より読みやすくする
- ・今回の改定にあたり、「お役立ち知識」として、医療や介護に関する重要な用語等について、都民に分かりやすく紹介する(他の例:医療機能の分担、地域包括ケアシステム、セカンドオピニオン 等)

➡ 「リビングウィル」、「エンディングノート」について掲載したい

案

○リビングウィル

どのような治療を受けたいかあるいは受けたくないか、自分で判断できなくなった場合に備え、代わりに誰に判断してもらいたいかなどをあらかじめ記載する書面のことです。

○エンディングノート

自分にもしものことがあったときのために、葬儀のことやお墓のこと、ペットのことなどについての希望を書きとどめておくノートのことをいいます。